



サフラン便り

第7号 2月15日発行

訃報届く

日本女性薬剤師会 秋島ミヨ会長が2月6日にご逝去されました。50年余り日本女性薬剤師会の為に多大なご尽力をなさいました。ご冥福をお祈り申し上げます。

発行:佐賀県女性薬剤師会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931

FAX:0952-23-8941

[Http://www8.ocn.ne.jp/saffron//](http://www8.ocn.ne.jp/saffron//)

私たちの想い



*日本女性薬剤師会理事・九州ブロック長 宮地信子

かつて、死亡率1位であった結核を始め細菌性の感染症は予防と治療法の進歩により、全く恐ろしい病気ではなくなった。その代わり、耐性菌(MRSA・VRE・PRSP)によるもの、また動物媒体によるウイルスのエイズ(猿)・SARS(ハクビシン)・鶏インフルエンザ等の新しい感染症が発生しその対応に追われています。これは“人間よ、おごることなかれ”という警告ではなからうか。将来未知の恐ろしい病気が発生する危険性もありと心すべきである。

*県女性部会 理事 宮地和子

「遷」という字に出会いました。「ウツル」と読みます。全て一瞬であり留まることはないという意味があります。至福の時は長くないし、またどん底の悲哀も長続きはないのだそうです。女性薬剤師は流れの中にどう対応していったらよいのでしょうか?ただ、太陽に向かって咲く花のように精一杯上を向きながら根を張って生きたいものです。

*佐賀市郡支部理事 田中須磨代

最近「男女共同参画社会を」とよく言われるようになってきましたが、私たち女性薬剤師はずっと以前から男性と同じように仕事をしてきました。しかし、仕事は同じにしている上に、女性の家事、育児、介護の負担は大変大きいものと思われまます。女性薬剤師会はその負担を少しでも軽く働きやすい環境づくりに努力していかなければと思っています。今年も皆様方のご協力よろしくお願い申し上げます。

*神埼支部理事 高島英子

イラク派兵、親の子供への虐待、年金制度の崩壊等々世の中が、日本人が、どうなっていくのか。先の見えない、不安な時代ですが、根が楽道家なのか深く考えないタイプなのか?ケセラセラなるようになるを信条に日々暮らしております。ただ、お客様には今年も誠意あるのみ。

*鳥栖三養基支部理事 徳淵昭代

日本女性薬剤師会便りの回覧をはじめました。男女共同参画が前向きな社会情勢を考えると、女性でなくては理解できない事柄の解決や、気軽に相談できる場があるということは貴重なことだと思います。サフラン便り、ホームページ掲示板、連絡網、メールなどで知ったかぶり情報、相談事例などもお気軽にお知らせください。

*小城多久支部理事 片桐倍子

今年は支部組織の活性化に力を入れたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

*唐津東松浦支部理事 栗山直美

今、薬剤師を取り巻く環境はさまざまな問題を抱えています。その問題を解決する最も重要なことは、患者のニーズに応える「かかりつけ薬剤師」を目指すことだと思います。「あなたに相談すると安心して薬が飲めます」という声を励みに日々努力していきたいと思ひます。

***伊万里西松浦支部理事**

川久保豊子

伊万里女性薬支部長として居座ること20有余年。世代交代を訴えて早10余年になりますが、思うに任せず今年も老体にムチ打ちながら足手まといにならないように後からついて行こうと思っています。

今年は九山大会開催県として何かと多忙さが予想されますが、是非盛大な大会になりますよう協力していくつもりです。本年もよろしくお願いいたします。

***武雄杵島支部理事**

武岡育子

2004年(閏年)一つの時代が終わり、新しい時代へと変化して行く年。このような時人々の心は安定を求め、益々健康への関心が高まると言われております。県薬会としても、特に多忙な年となりそうですが・・・そのような時こそ原点を見失わずいきたいものです。私も諸先生方のエネルギーな前向き姿勢を見習いつつ「病には光の心妙薬と」(桃源教)の心を忘れずに進めたらと願っております。

***鹿島藤津支部理事**

石井直子

女性薬委員に初めてつき、右も左も分かりませんが、少しでも女性薬剤師が働き易いよう活動していきたいと思ひます。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

***女性委員**

奥平康子

構造改革が叫ばれ一般医薬品において、規制緩和で昨年はいろいろと話題になりました。個人の薬局では到底太刀打ち出来ません。薬剤師としてどうしても守っていかなければならないことに保険調剤があります。その医薬分業にもまたまた分業再考とか新しい発想のドライブ 薬局とか何かと気になることがあります。患者さんに対して情報提供服薬指導をしっかりと信頼される薬剤師になれればと思ひます。

***女性委員**

島田智子

昨年一年女薬の活動に参加して本当に良い体験と勉強をさせていただきました。今年は不安な年明けでしたが、私たちの諸先輩たちもいろいろな困難を乗り越えられてきたことを、肝に銘じて私も自分のできることからひとつひとつ誠実に努力していきたいと思ひます。

<明日から使える調剤のチェックポイント>

Vol.3 散剤の計量

日本女性薬剤師会副会長 近藤由利子著

処方 ×××細粒 5% 30mg 1日2回 30日分

総量は何gか?
いくつに分包するのか?
分包数を間違える場合も多い

他の規格の細粒・末が存在する場合は薬ピンを間違えないよう注意しなければならない。

成分か、力価か、細粒の重量か、用量を確認する。
小児の場合は年齢、体重を確認し、小児用量として妥当かをチェックする必要がある

字余り煎溜(女薬版)
今年こそはしっかりと書いて
点数かせぎ
今だけ言える
定年後は世界一周
チョコは丸呑み
錠剤は粉碎中
春(さい)
気持ちだけは幸せに
(野咲花子)

第6号でお知らせいたしました、アバンセフェスタが2月22日(日)近づいてきました一人でも多くのご参加ご協力お願いいたします。
女性薬ホームページの掲示板が再開しました。
アクセスするのにパスワードが必要です。
お気軽にお入りください。お待ちしております。
パスワード「853939」